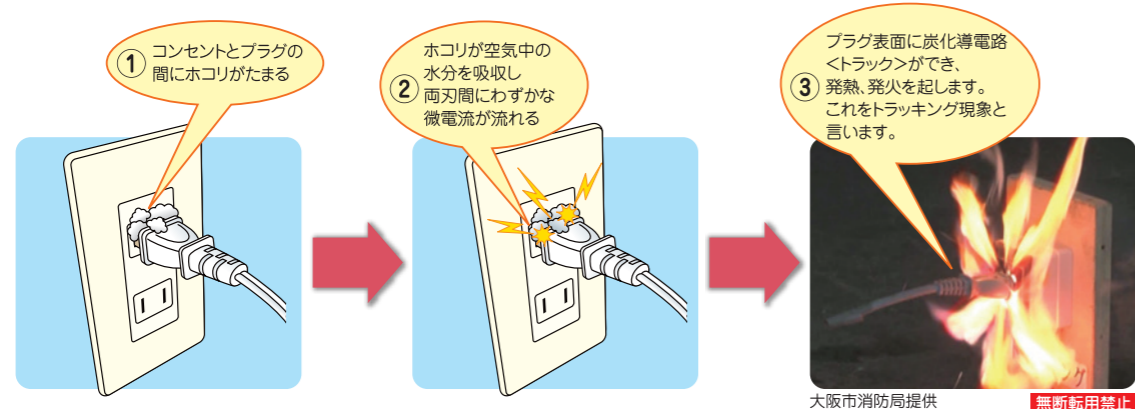




電源コードや電源プラグは誤った使い方を続けることにより、トラッキング現象や電源コードが異常発熱しショートするなど、火災事故等に至るおそれがあります。日頃のこまめなチェックや清掃など、製品を正しく使用して事故を未然に防止してください。

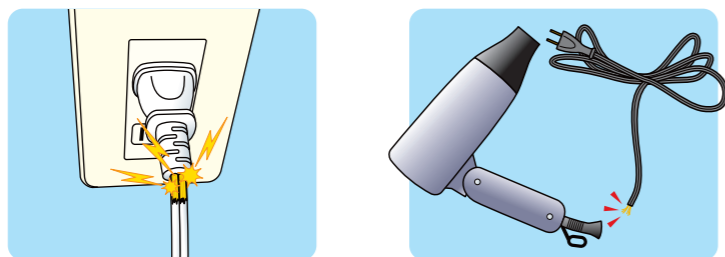
●トラッキング現象による発火

コンセントにプラグを長期間差し込んだままにすると、たまったほこりや湿気のために、差し刃間に微弱の電流が流れる状態となり、プラグの樹脂部分が徐々に炭化し、火災の原因となります。



●電源コードが断線してショートによる発火

コードをねじる・折り曲げるを繰り返す、コードの上に家具などの重たいものをのせたりすると、心線が断線し細くなったところに電気が流れコードが異常発熱し「ショート」の原因となります。



パンフレットのダウンロード入手方法

- ① JEMAのウェブサイト(<https://www.jema-net.or.jp/>)にアクセスします。
- ② 「家電機器」をクリックします。「家電製品の安全について」欄よりダウンロードいただけます。



一般社団法人 日本電機工業会は、消費者・ユーザーへの広報活動など、積極的に取り組んでいます。

尚、パンフレットの掲載内容に関するお問合せは、
下記 一般社団法人 日本電機工業会 各支部までお願いします。

- 一般社団法人 日本電機工業会 家電部 電話:03-3556-5887
- 一般社団法人 日本電機工業会 大阪支部 電話:06-6344-1061
- 一般社団法人 日本電機工業会 名古屋支部 電話:052-231-5211
- 一般社団法人 日本電機工業会 九州支部 電話:092-761-4778

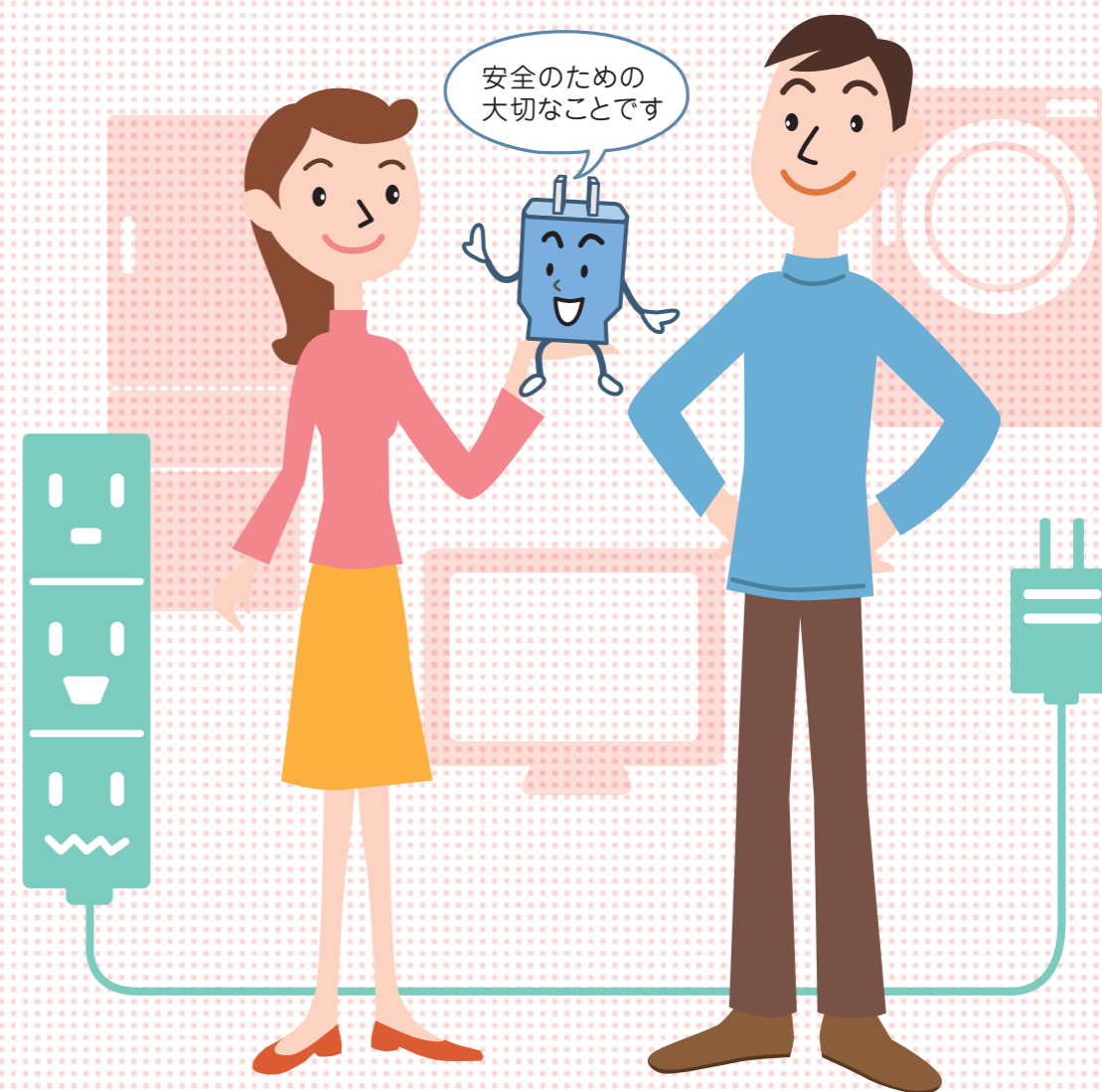
一般社団法人 日本電機工業会

〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地4 電機工業会館

URL <https://www.jema-net.or.jp/>

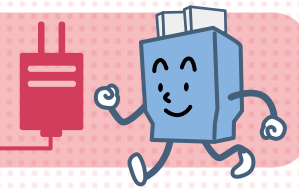
家電製品を安全に お使いいただくために

電源コード・電源プラグの取扱い上の注意について



一般社団法人 日本電機工業会

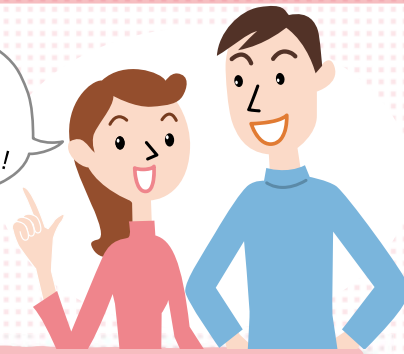
電源コード・電源プラグの取扱い上のご注意



家庭でご使用になる配線器具類の取扱い時には
次の点に注意して点検をお願いします。
事故になる可能性のある使い方をしていませんか？
確認をしましょう。



まずは
チェックする
ことから
はじめましょ!



①電源コードを引っ張って抜いている。
コードは電源プラグを持って抜いてください。

心線が断線するおそれがあり、
過熱する原因にもなります。



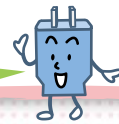
②電源コードの上に重たい家具等を置いたり
車輪で踏んで傷をつけている。
コードは踏みつけないようにしましょう。

コードが半断線となり、
発火するおそれがあります。



③電源プラグが差し込み口から抜けかかっている。
プラグはしっかり差し込みましょう。

接続不良により、
過熱するおそれがあります。



④電源コードに触れたり折り曲げると、
電気が入ったり切れたりする。



⑤電源コードに傷や破れがある。



⑥電源コードやプラグが触れないほど
熱くなっている。

火災の原因になります。直ちに使用を停止してください。



⑦電源プラグの刃が変形している。



⑧電源プラグや差し込み口に、
ガタツキがある。

接触不良になり、火災の原因になります。直ちに使用を停止してください。



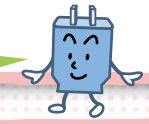
⑨たこ足配線になっている。
必ず「定格容量」を守るようお願いします。

接続された電気機器を同時に使った場合、
電流が多く流れて電気火災の危険があります。

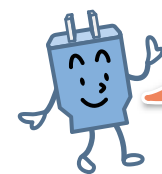


⑩電源コードを束ねて使用している。
電源コードは束ねて使用しないよう注意してください。

束ねたまま電気を使用すると、過熱し、
焼損・火災の原因となります。

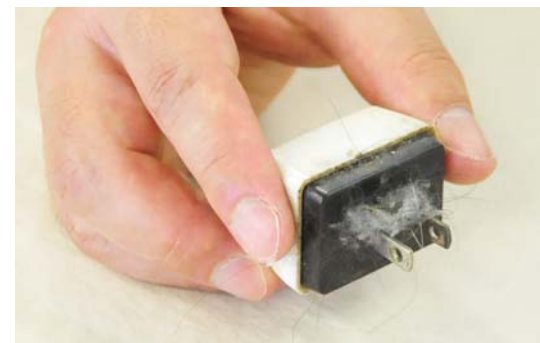


⑪電源プラグやコンセントに「ほこり」がついている場合は、こまめに乾いた布でそうじをしてください。
電源プラグの刃の間でトラッキング(*)が発生して火災になることがあります。



普段からほこりを取り除いたり、
水がかからないように注意してください。

そのままに
しておくと
大変なこと
なるよ。



電源プラグの上にほこりがつまっている。



電源プラグに水がかかっている。